

千葉市議会議員

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2020年秋の便り号 (通算第46号)
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
ホームページは「亀井たくま」で検索をお願いします！ メール DQG06110@nifty.ne.jp



コロナ対策・市民生活支援を！/千葉公園再整備を！ 特別支援教育の充実を！/動物愛護推進を！

皆様、御元気でいらっしゃいますか！いつもお世話になりまして、ありがとうございます！おかげさまで持ちまして、亀井たくまも変わらず、議会活動に動いております。

今日なお、コロナウイルスにより、全国・市内を問わず、市民生活・経済活動は重苦しい閉塞感に覆われております。市議会も引き続き、行政と連携・協力し、対策の推進に取り組んでまいります。

今回は、9～10月に行われた第3回定例会(9月議会)における亀井の質問・提案の内容を抜粋・要約してご報告申し上げます。今後も「雑草魂」で精進いたしますので、どうぞよろしくお申し込み申し上げます！

新型コロナウイルス対策・市民生活支援について

- Q コロナ感染拡大対策を、保健所の相談体制強化、検査体制の強化を。
- A 保健所に専用相談窓口を開設し、対応しているが、冬季に向けて発熱患者等の相談に対応するため、看護師を増員する。検査体制は8月末にPCR検査機器を増設し、多くの医療機関でも検査できるように拡充を図っていく。
- Q コロナ休校等で影響を受けていることもたちへの学習支援は、高校受験の生徒・家庭へのケア・支援を。
- A 学校行事等の見直し、授業の工夫により、授業時数の確保、学習の充実に努めている。各学校に「学習指導員」を配置し、個別指導に取り組むとともに、受験生や保護者には個別の学習相談等を行い、丁寧な支援を行う。
- Q 台風・豪雨災害に備え、「地震・風水害ハザードマップWEB版」の活用・充実を。「紙のハザードマップ」提供を。
- A 「ハザードマップWEB版」では、地震・津波・洪水等の情報を統合して提供しており、速やかに更新や情報提供を行う。今後、紙媒体での提供を希望する市民に、ニーズに合わせた印刷物を提供できるよう努めていく。
- Q 災害時の各避難所運営委員会や市民への連絡・連携体制の強化を。避難所(学校等)の倒木対策を。
- A 迅速な情報伝達のため、各避難所運営委員会と自主防災組織向けのメーリングリストを構築し、活用している。今後の災害時には、電話による情報伝達も行う。学校施設の危険樹木は、今後3年をかけて伐採する。



亀井はこう考える！ 感染対策と市民生活の立て直しを急げ！

市内でもコロナウイルスの感染報告が続いています。この間、議会からも提言を行い、「感染予防対策」「保健所の機能強化」等が実施されていますが、感染再拡大が心配されるところです。同時に、コロナ禍によって、各種福祉利用も大きく増えており、市民生活・市内経済の支援、雇用対策が急務です。

また、学校の休校により、学習の遅れやこどもたちへの影響を心配する声をいただいています。特に受験を控えたこどもたちやご家庭への相談支援体制や学習支援の充実を求めました。そのほか、台風・豪雨災害の時期を迎え、災害ハザードマップへの関心も高まりましたが、「インターネットではなく、紙のハザードマップを」という意見を複数頂戴し、より多くの方が利用できる紙媒体のハザードマップの提供を提起しました。



千葉公園周辺のまちづくりについて

- Q 千葉公園の水辺スペース充実を。オオガハスの活用を。綿打池の掻い掘りや水質改善を。
- A 親水性の向上を図るため、水辺のテラスや休憩施設、夜間照明施設を整備する。オオガハスは蓮華亭の展示・資料を充実し、「ハスの名所」にしていきたい。綿打池は、浄化施設を設置して水質の改善に努めており、掻い掘りなど、さらなる水質改善を検討していく。
- Q 今後の駐車場の整備は。
- A 現在350台(体育館脇50台、競輪場300台)だが、約800台の駐車場を4か所に分けて整備する。
- Q 千葉公園内の道路(競輪場～野球場の間)を廃止する計画だが、周辺の交通渋滞などが懸念される。今後の対策を。
- A 今後、公園北側(宗胤寺側)の道路の改修を実施していく。
- Q 大規模災害への備えのため、千葉公園の災害時の防災機能向上を。
- A 新・千葉公園ドームでは帰宅困難者の受け入れを検討している。新・千葉公園体育館は避難所として、太陽光発電設備やマンホールトイレなどを整備する。野球場跡地は、芝生広場として多くの人が避難できるように改修し、照明を設置する。災害用のトイレ、パーゴラ、かまどベンチの設置も検討する。

亀井はこう考える！ 緑と水辺の充実した「千葉公園」再整備を！

現在、千葉公園周辺のリニューアル事業が行われています。今後、民間活力を導入した「賑わいの創出」も計画されていますが、千葉公園を訪れた方々がオオガハスをはじめとした豊かな緑や自然に触れ、千葉市の歴史を学べるような公園になることが期待されます。緑・水辺の充実、オオガハスの活用、蹴跡・歴史的遺産の保全・活用、防災機能の充実、トイレ改修・バリアフリーの推進などを求めました。

今後、駐車場が350台→800台と倍増し、競輪場と旧野球場の間の道路&プール山側の道路が廃止される予定です。椿森・弁天・松波周辺の交通量増加や交通渋滞が懸念されることから、対策を強く求めました。

特別な支援を要する児童生徒への教育・支援について

- Q 日本語指導が必要な外国籍等の児童・生徒への支援を。「自動翻訳機」の導入や日本語指導のさらなる充実を。
- A 今後日本語指導が必要な児童・生徒が増加し、多言語話者も進むことから、指導協力員の増員や自動翻訳機の拡充を進め、支援の充実に取り組む。
- Q 高校でも支援を必要とする生徒が増えている。市立高校における特別支援の充実を。
- A 平成30年度から市立稲毛高校に通級指導教室を開設し、今年度から市立千葉高校でも巡回指導を開始している。今後も障がいに応じて、支援の充実に努めてまいります。
- Q 特別支援教育こそ、より良い教育環境を。特別支援学級における「講師」の配置率、3年未満の担当者の割合、免許の有無は、専門人材の配置推進を。
- A 小中学校特別支援学級の講師配置率は小16%、中30%、全体20%であり、経験3年未満教員は小38%、中40%、全体38.5%となっている。免許保有率は51.5%であり、改善に努めていく。各学校への支援として、特別支援教育エリアコーディネーターや学校訪問相談員の派遣の拡充を図っている。今後も拡充を目指したい。
- Q 特別支援学校・養護学校の老朽化、教室不足への対応、教育環境向上を。
- A 計画的に改修に取り組む。特別支援学校の児童生徒数が増加し、教室不足や校舎狭小化が生じており、今年度、第二養護学校でプレハブ校舎を増築する。今後、文科省が特別支援学校の「設置基準」を策定する方向であることを踏まえ、市として、校舎の増設や小中学校の空き教室・廃校の利活用などの「集中取組計画」を策定する。
- Q 特別支援学校・養護学校でこどもたちが制作した製品や生産物の販路拡大・応援を。
- A 今年度、コロナにより販売会などが縮小されていることから、教育委員会のホームページや市政だより等で紹介・掲載し、今まで以上に販売の拡充に努める。
- Q 特別支援学校・養護学校高等部生徒の就労支援を。本市も積極的に雇用を。
- A コロナによる影響が懸念されることから、例年以上に関係機関と連携し、就労支援に努める。障がい者雇用の推進に向け、特別支援学校・養護学校との連携を検討する。

亀井はこう考える！ 千葉市のすべてのこどもたちの未来のために！

- ①日本語指導が必要な外国籍児童・生徒・・・市内の学校では(私の地元でも)、多くの外国籍のこどもたちが在籍しています。昨今では「自動翻訳機」がこどもたちの学びや生活で大いに役立っていることを、翻訳導入や指導協力員の増員、来年度に向けて、拡充の方向が確定しました。
- ②市立高校における特別支援・・・さまざまな「障がい」の理解が進み、支援の必要なこども・大人も増えています。現在、市立千葉・稲毛両高校においても、生徒のニーズに応じて、通級指導・教育相談が始まり、充実してきています。さまざまな年齢期に切れ目なく支援が行われることが重要です。
- ③市立小中学校特別支援学級のこどもたちへの支援・・・私がかねてより、特別支援教育こそ、より良い教育環境をと考えています。特別支援学級においては、経験豊富な正規教員の配置やそれを支える体制づくりが急務です。学校全体を支えるエリアコーディネーターの派遣拡充など、年々、体制の充実が進んでいますが、きめ細かい相談・支援体制が今後も必要です。
- ④特別支援学校・養護学校のこどもたちへの支援・・・現在、市内の養護学校・特別支援学校においては、施設の老朽化、児童生徒数の増加による教室の過密化・教室不足問題、学区・通学問題、正規教員の不足などの課題があります。こどもたちへのより良い教育・支援のため、①学校施設環境の改善、②増設や分校設置等に向けて、廃校利活用や空き教室の活用、③専門性のある正規教員や支援スタッフの増員・配置、④コロナ対策のためスクールバスの増車、⑤こどもたちの制作した製品や生産物の「販路の拡大」の支援、⑥「就労支援」の強化、⑦共生社会の推進のための取り組みを求めました。

特に、コロナ禍による景気悪化のため、障がいのあるこどもたちの就労支援は大切と考えます。市教育委員会では障がい者法定雇用率未達成の状況が続いていることから、積極的な雇用促進を求めました。

動物愛護の推進について

- Q 公園等における「地域猫活動」の取り組み推進を。
- A 公園・緑地での「地域猫活動」は、適正な餌やり活動を行うボランティアと市が協働して、不妊去勢手術などに取り組んでいる。今後も公園利用者や地域の理解が得られるように、市として取り組みを進めていく。
- Q 犬・猫に関する地域課題解決のために、「地域猫活動」や「ボランティアの活動」が円滑に行えるよう、さらなる理解と支援策を。
- A 市は地域猫活動を推進しており、「不妊去勢手術の実施」「餌場の清掃」「糞尿の清掃」「地域の協力・理解を得よう努力すること」を4つのルールとして、パンフレット等で啓発している。今後も周知・啓発に取り組み、ボランティアの活動支援の体制づくりにも取り組む。
- Q 市内では、「多頭飼育崩壊」も起きている。ペットや動物の問題を福祉の課題として捉え、福祉部門とのさらなる連携・協力を。
- A 高齢者がペットを飼えなくなるなどの問題に直面した際には、あんしんケアセンターなどの相談窓口と動物保護センター、民間団体との関係機関が情報を共有し、飼い主である高齢者の福祉とペットの生活が守られるように、連携できる体制づくりを検討する。
- Q 地域の犬・猫の問題解決や動物愛護推進のため、新たな「動物愛護センター」設置を。獣医師会、ボランティアや活動団体との定期的な交流の場の設置を。
- A 現在、新センター建設に向けて、基本方針を策定中であり、獣医師会やボランティア、専門家等の意見を聞くべく、意見交換会を実施している。今後も継続的に意見交換できる体制づくりに取り組む。

亀井はこう考える！ 市内の不幸な犬・猫たちを救い、人と動物の共生社会を！

ボランティア・市民の皆様のご理解・ご協力により、千葉市における動物愛護施策は前進していますが、まだまだ課題は山積しています。私のもとにも、「かわいそうな犬や猫がいるから、なんとかしてほしい」地域で野良猫が増えて困っている「高齢世帯のペット・動物が心配だ」など、多くのご相談が寄せられています。不幸・過酷な境遇にある動物を1匹でも減らすことで、動物が好きな人・嫌いな人双方が安心して暮らせるように、「野良猫への不妊去勢手術の推進」「犬や猫の譲渡に取り組むボランティア・愛護団体の活動への支援」「市民からの相談への対応力強化」「高齢・障がい福祉との連携強化」などの施策推進を求めました。今後、多くの動物たちを救い、市民の皆さんからの相談や課題を解決するための「新たな動物愛護センター」建設を早急に始めるべきと考えます。

行政だけでは救えない命がまだ多くあります。小さな命を放っておけない、見過ごせない、そんな心ある方々が地域で活動しているおかげで、多くの命が救われている現実があります。そうした活動へのご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、私自身も微力ですが、今後も活動していく決意です。

日々精進の記録！ ～写真で見る活動記録～

環境経済委員長を拝命！ ～環境・経済、市民生活施策の前進へ～

6月議会では、役員改選が行われ、亀井は「環境経済委員会委員長」を仰せつごみくださいました。市内のごみ対策・環境問題、コロナ下での経済・農業対策、市民生活・サービスの向上など、課題は山積ですが、1年間全力で取り組む決意です。



議会内外からコロナ対策・支援を！ ～市保健所にマスクを寄贈！～

所属している千葉ライオンズクラブでは、日頃より地域貢献に取り組んでいます。10月、コロナ対応で最前線に立つ市保健所に、台湾・台北県ライオンズクラブより、「日本(千葉)の皆さんのために」とお預かりしたマスクを含め、多くのマスクを寄贈しました。(千葉日報にも掲載されました)



皆様の声の実現！ ～あの質問・提案はどうなった？～

～各地区の課題や安全対策が前進！～

この間、市民の皆様からご要望をいただいた地域の課題は、着実に改善・前進しています。一部を紹介いたします。今後も地域の声をひとつひとつ届けてまいります。



【中溝排水路フェンス設置】(祐光・道場北)

【道路幅幅・交通安全対策】(安鼻)

【交差点改良・横断歩道新設】(椿森)

市政へのご意見は。

携帯電話 090-3694-4173
TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします！お手紙も大歓迎です！

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp



フェイスブック、ツイッターで、日々の活動を報告しています！ 亀井たくま でご検索ください！

亀井たくま(40歳)、日々修行中です！！

- ・作(昭和55)年3月生まれ、中央区椿森出身・在住。
- ・1980年幼稚園・都賀小・椿森中
- ・市立千葉高・早稲田大学政治経済学部
- ・早稲田大学大学院公共経営研究科修了。
- ・2007年市議選で21票差で落選。2011年、2015年当選。
- ・2018年社会保険労務士試験に合格。2019年、3期目の当選。

地域での仕事

- ・千葉市スポーツ推進委員・千葉市青少年相談員
- ・院内小、椿森中地区各種団体役員
- ・椿森3丁目・5丁目地区役員
- ・第4地区(椿森中学校区・東千葉地区)自治会連絡協議会理事

議会での仕事

- ・環境経済委員会委員長
- ・超高齢社会調査特別委員会委員
- ・環境審議会委員

趣味

- ・明治～昭和の懐メロ。童謡・唱歌。
- ・好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎、三浦一。
- ・(地域で演奏・茶話会のボランティアとして)
- ・NPO東海林太郎顕彰会理事(本部・秋田市)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします！

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました！